

住みよさランキング総合順位 兵庫県下の状況(全国100位まで)

2007年

県内順位	全国順位	自治体名
1	70	朝来市
2	75	芦屋市

2008年

県内順位	全国順位	自治体名
1	62	三田市
2	91	芦屋市
3	99	加東市
4	100	西宮市

2009年

県内順位	全国順位	自治体名
1	13	芦屋市
2	38	加東市
3	51	宝塚市
4	66	三田市
5	75	西宮市
6	98	川西市

住居水準充実度 全国226位

住宅延べ面積
(世帯当たり)
持ち家世帯比率
住宅地平均地価

開発がすすむ南山地区

子育て支援の充実

2009年から「金融機関数」「住宅地平均地価」は総合評価の対象外となりました。

富裕度 全国202位

財政力指数
地方税収入額
課税対象所得額
(納税義務者1人当たり)

住みよさランキング2009

山よし! 技よし! 文化よし!
夢がきらめく☆元気なまち 加東

加東市が県内第2位!

全国784都市中 第38位

快適度 全国15位

公共下水道普及率・
合併浄化槽普及率
都市公園面積
3年間の転入・転出口比率
新設住宅着工戸数
(世帯当たり)

都市公園の整備

利便度 全国470位

小売業年間販売額
大型小売店 店舗面積
金融機関数

安心度 全国201位

病院・一般診療所病床数
介護老人福祉施設・
介護老人保健施設定員数
(対65歳以上人口当たり)
出生数
(15~49歳女性人口当たり)

下水道施設の整備

住みよさランキングとは

「住みよさランキング」とは、(株)東洋経済新報社がさまざまな公的統計をもとに、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点と14の指標(2008年までは16指標)から偏差値を算出し、その単純平均を総合評価としてランキングしたものです。

調査対象は、全国の784都市で、今回が17回目の実施となります。

兵庫県内で総合第2位

このランキングの平成21年版である「住みよさランキング2009」において、加東市は前年の第99位から大幅に順位を上げ、総合第38位を獲得しました。(2008年まで採用されていた方式では第28位に該当)

また、県内における順位も、昨年の第3位から第2位にアップしました。

快適で住みよいまち

それでは、加東市が高い順位を獲得できた要因は一体何なのでしょう。住みよさランキングの5つの観点のうち、加東市は「快適度」が全国で第15位であり、それが総合順位を押し上げる要因となっています。快適度は、「公共下水道普及率・合併浄化槽普及率」「都市公園面積」「3年間の転入・転出口比率」「新設住宅着工戸数」の4つの指標から算出され、加東市はこのどれもが高い水準にあります。

【環境】

「公共下水道普及率・合併浄化槽普及率」
加東市の下水道普及率は99.6%
(平成21年3月31日現在)です。

【自然】

「都市公園面積」
加東市内には播磨中央公園など数多くの都市公園が整備されています。

【活力】

「3年間の転入・転出口比率」
人口減少が進む北播磨地域にありながら、加東市の人口は微増を続けています。子育て世代の増加はまちの活気につながります。

【住まい】

「新設住宅着工戸数」
ひょうご東条ニュータウンインターパーク(南山地区)をはじめとする分譲地において、住宅、共同住宅、工場などの建設が盛んです。

誰もが住みよい 加東市を目指して

この「住みよさランキング」は、さまざまな評価手法のうちの1つであり、「住みよさ」は一人ひとりの置かれている状況や考え方によっても判断が変わるものですが、今回のランキングによると、加東市のまちづくりは、一定の評価を獲得できているといえるのではないのでしょうか。

今後、加東市に住む誰もが「ここに住んで良かった」と実感できる、夢がふれる元気なまちづくりを推進していきます。